ながさき 県議会だより

2月定例会

県議会が「緑の募金」街頭募金活動を実施しました!

県議会議員による「緑の募金」街頭募金活動を、平成29年3月3日(金)、浜町アーケードで実施いたしました。

活動には、33名の県議会議員が参加し、街頭で募金へのご協力を呼びかけました。

その結果、皆様方からお寄せいただきました募金の総額は、83,749円となり、公益社団法人長崎県緑化推進協会へお届けいたしました。皆様の温かいお気持ちに感謝いたします。

ご協力ありがとうございました。

審査した案件と結果

知事提出の議案

・予算	27件(可決)
・条例	24件(可決)
・事件	8件(可決)
・人事	1件(同意)

議員等提出の案件

・発議	1件(可決)
・議員派遣	1件(可決)
・意見書	6件(可決)
・決議	1件(可決)

可決された意見書

◎ 離島・半島地域の振興対策に関する意見書
◎ 長崎県におけるまちづくり及び経済雇用対策に関する意見書
◎ 長崎県のさらなる観光振興の促進に関する意見書
◎ 無料公衆無線LAN(Wi-Fi)環境の整備促進を求める意見書
◎ 海洋ごみの処理推進を求める意見書
◎ 地域の実情に応じて運用できる「民泊」の法制化を求める意見書

可決された決議

◎「有人国境離島地域の地域社会の維持」に係る施策の推進に関する決議

平成29年2月定例会にて、約7,245億円の「平成29年度長崎県一般会計予算」等を可決

平成29年2月定例会は2月20日から3月16日まで開かれました。

開会初日は、3つの特別委員会から委員長報告が行われた後、「離島・半島地域の振興対策に関する意見書」など4件の意見書 決議を可決しました。

次に、平成29年2月以降の各常任委員会及び議会運営委員会の構成を決定し、併せて、離島・半島地域振興特別委員会、観光振興等対策特別委員会の2委員会を継続、人口減少・経済雇用対策特別委員会を新たに設置し、その構成等を決定しました。

また、「平成29年度長崎県一般会計予算」などの議案が上程され、中村知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、関連する議案について提案理由の説明を行いました。

24日からの一般質問では、12名の議員が登壇し、保育士の人材確保、無許可民泊、IRの取組、子どもの貧困、奨学金制度、県庁舎跡地活用、有人国境離島法、和牛能力共進会、亜熱帯植物園、離島留学、木質バイオマスの活用、核兵器廃絶国際署名など、様々な事項について活発な論議が交わされました。

平成29年度は、「長崎県総合計画チャレンジ2020」の2年目であり、初年度の施策の検証を行い、厳しい財政状況の中でも、選択と集中により、県勢の発展に必要な施策に予算の重点化を図り、平成29年度当初予算の総額は、一般会計で7,245億439万円、特別会計で747億1,089万円、企業会計で94億3,800万6千円となりました。

主な予算については、有人国境離島法の施行に伴い、新しく創設される有人国境離島法関係の交付金等をしっかりと活用し、交流人口の拡大や雇用の確保のための施策を推進することとしました。

また、平成28年度2月補正予算については、一般会計で411億578万5千円の減額、特別会計で2億9,073万4千円の減額、企業会計で17億172万2千円の減額補正となりました。

閉会日は、これらの予算を含め、「長崎県国民健康保険運営協議会条例」など62件の議案を原案のとおり可決、同意し、「海洋ごみの処理推進を求める意見書」など3件の意見書を可決し閉会しました。

常任委員会

◆総務委員会　委員長／吉村　洋

【質問】「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」に関し、交流人口の拡大に伴う交通渋滞や来訪者のマナーについて心配の声も上がっているが、どのように周知を行っているのか。

【答弁】来訪者に見学マナーを周知し、地域住民の生活環境に支障を生じさせないことは重要。教会堂では、事前連絡制度による訪問者数の調整や受付時に見学マナーを周知するとともに、集落内についても周遊ルートや注意点等をパンフレット等に記載するほか、インフォメーションセンターで見学マナーの周知を行いたい。

【主な論議事項】長崎県亜熱帯植物園条例を廃止する条例について／高齢者の交通事故対策について／地域防災計画について／新県庁舎建設工事について　等

◆文教厚生委員会　委員長／山本 由夫

【質問】障害者スポーツのあり方に関する県の取組はどのようになっているのか。

【答弁】障害者スポーツは、長崎がんばらんば大会を契機に高まっている機運を一過性のものとせず、今後に繋げていくために、スポーツの裾野を広げていくことや、長崎がんばらんば大会の成果を定着させることが重要だと考えており、「ながさきスポーツビジョン」にも位置づけて障害者の社会参加の促進に取り組んでいる。大会の成果を定着させる取組として、人材バンクの設置や団体競技への支援などを行っている。

【主な論議事項】私立高等学校の就職状況について／土曜授業について／ながさき生涯現役応援センターについて／地域包括ケアシステムについて 等

◆環境生活委員会　委員長／ごう まなみ

【質問】交通局の中期経営計画に関し、乗合の運行形態の見直しの中で、事業構造の転換を図るなどの取組を行っているが、加えて、コミュニティバスの運行を拡大する予定はないのか。

【答弁】これまでも、高齢化社会のさらなる進展を見据え、片淵線やハートセンター線など、昼間の時間帯の買い物や通院などに特化した路線展開を行ってきている。路線の制約もあるが、今後も可能な限り運行について検討していきたい。

【主な論議事項】一般県道諫早外環状線の建設工事の変更にかかる積算について／建設業の担い手確保・育成について／海砂の採取について／汚水処理構想2017について／性暴力被害者支援事業について／鳥獣保護管理事業計画の策定について／長崎県犯罪被害者等支援計画の策定について　等

◆農水経済委員会　委員長／宅島 寿一

【質問】長崎べっ甲が今回、国の伝統的工芸品の指定を受けたが、今後、長崎の名産品として売り出すだけの原材料は確保できるのか。

【答弁】事業者が保有している原材料は、べっ甲業界が保有調査を行っているが、全数調査ではない。使用状況により変化するが、10年分以上あると聞いている。また、業界団体は、国の補助事業も活用しながら、原材料の確保に努めることとしており、県も一緒になって引き続き取組を進めていきたい。

【主な論議事項】長崎県勤労福祉会館条例及び長崎県技能会館条例の一部を改正する条例／長崎県獣医修学資金貸与条例の一部を改正する条例／太平洋くろまぐろの資源管理／雇用対策について／ベンチャー支援外部専門家委員会からの提言について　等

◆予算決算委員会　委員長／橋村 松太郎

【質問】国境離島振興対策である、しま旅滞在推進事業及びしま旅グレードアップ事業について、島外からの観光客は運賃低廉化の対象となっていない。本事業による観光客の旅行費用を低廉化する仕組みはどうなっているのか。

【答弁】しまの魅力を活かした新たな体験プログラムを組み込んだ旅行商品を開発し、体験プログラムやレンタカープラン等の割引を行いたいと考えている。

【主な論議事項】平成29年度当初予算(案)について／まち・ひと・しごと創生総合戦略について／人口減少ならびに地方創生への取組について／県庁舎建設整備費について／医療分野におけるICTの推進　等

お知らせ

テレビ放送

平成29年2月定例会の模様をまとめた「県議会リポート」を放送します。
○平成29年4月8日(土)16:00～16:15
○NBC長崎放送

インターネット中継

インターネットを利用した県議会中継(生中継・録画中継)を実施しています。

ホームページ・会議録

長崎県議会　検索　会議録全文を掲載しています。

掲載内容
○平成8年2月～28年11月定例会の本会議・常任委員会
○平成24年4月～29年1月分の特別委員会

◎本会議・委員会は、原則としていつでもだれでも傍聴できます。
◎次回の定例会は、6月19日に始まる予定です。

一般質問

県庁舎の跡地活用について

溝口 芙美雄〈佐世保市・北松浦郡／自由民主党〉

【質問】県が検討している3つの方向性に基づく整備方針を明確に示し、速やかに整備に向け、次なる検討を進めていくべきものと考えるが、知事の考えは。

【答弁】「広場」「交流・おもてなしの空間」は、これまで示してきた方向性に沿い検討を進めることで理解をいただけるのではないかと考えるが、「文化芸術ホール」は、整備主体や費用負担などの課題があるほか、さらに慎重に検討すべきとの意見もあるため、適切な時期に、今後の方向性を判断してまいりたい。

国境離島新法について

山本 啓介〈壱岐市／自由民主党〉

【質問】雇用創出、航路・航空路運賃低廉化、輸送コスト低廉化、滞在型観光の促進が軸となる新たな交付金に対し、県や市町の取組結果を早期に出すことが我々行政や政治家の責任であると思うが、知事の見解は。

【答弁】既存の施策、制度を見直しながら施策の精度を高め、より重点化して、雇用の確保・環境整備等に特に力を注ぎ、具体的な成果が着実に生まれるよう、今後もしっかりと国の支援制度を活用させていただきながら、引き続き全力で取り組んでまいりたい。

全国和牛能力共進会(宮城大会)に向けた取組について

吉村　洋〈佐世保市・北松浦郡／自由民主党〉

【質問】日本一連覇を獲得するための出品対策及び輸送対策をどのように考えているか。

【答弁】出品対策(肉牛の部)については、前回より37頭多い141頭の候補牛を確保のうえ、発育等の優れた牛を選抜し、優秀な肥育農家15戸へ引渡しを行い、個別マニュアルによる飼養管理の徹底に取り組んでいる。輸送対策については、家畜保健衛生所の獣医師の随行や振動防止対策及び暑熱対策など生産者や専門運送業者などの意見をもとに検討を進めていく。

亜熱帯植物園について

渡辺 敏勝〈長崎市／改革21〉

【質問】植物園閉園後の跡地活用、また、長崎市が建設を計画している恐竜博物館への植物移植等の協力に関し、県の考えは。

【答弁】閉園後概ね2年間は、保有する植物の保全管理を行い、できるだけ多くの植物を県内外の類似する植物観賞施設へ移譲し、その後、温室などを解体する。地すべりにより将来にわたる安全確保が困難なため利活用は難しいが、これまで植物園が野母崎地域に果たしてきた役割を踏まえ、長崎市と連携を図り、地域の活性化に向けた施策を後押ししていく。

高校生の離島留学制度の推進について

近藤 智昭〈南松浦郡／自由民主党〉

【質問】離島留学制度の充実を図るに当たり、今後どのように取り組んでいくのか。

【答弁】各学校の教育内容の充実や生徒の進路先の確保とともに、居住環境の整備等も必要である。来年度から新たに、生徒が主体となった各コースの魅力化を図る取組を行うとともに、地域との連携をさらに強化し里親の確保等にも努める。また、今後は、広報活動の充実や宿泊体験の参加人数の拡充、留学生が安心して生活できるサポート体制づくりの検討を予定している。

保育人材の確保対策について

中村 和弥〈諫早市／自由民主党〉

【質問】給与の処遇改善が進んだとしても、保育人材の確保には難しい問題が残っているが、特別な対策を講じる考えはあるか。

【答弁】保育士・保育所支援センターや市町と連携し、潜在保育士の方への復職支援を強め、保育現場への復帰を促したい。また、新卒保育士の県内定着を図るため、合同面談会を来年度は参加施設を2倍にするほか、保育士修学資金貸付等事業の対象を県外の養成校に通う県内出身者まで拡大し、新卒保育士の確保に努めたい。

県内の民泊の状況と対応について

大場 博文〈島原市／自由民主党〉

【質問】旅館業法の許可を得ない民泊が横行している。本県の実態はどうか。仲介サイトに登録すれば営業できると考え、違法の認識がない人もいるようだ。

【答弁】本県では、農林漁業体験民宿が旅館業法の許可を受けて行われている。昨年12月に民泊仲介サイトの登録情報111件を調査したところ、許可済みが24件、無許可が29件、確認不能が5024件、削除済みが8件であった。今後とも無許可営業の把握に努め、旅館業法に基づき厳格に対処していく。

統合型リゾート(IR)推進法の施行による本県の取組について

里脇 清隆〈大村市／自由民主党〉

【質問】IR導入実現には、県民の理解と合意形成が重要。特に問題となるギャンブル依存症は、見分け、規制が非常に難しいため、十分な対策をお願いしたい。

【答弁】高い経済効果や雇用創出効果と合わせ、青少年への悪影響、依存症等、マイナス面への対策など説明しながら、理解を得ていく必要がある。ハウステンボス周辺地域をはじめ、県内各地域で住民説明会を開催し、広くIRに関する情報提供を行っていく。

子どもの貧困対策について

坂本　浩〈長崎市／改革21〉

【質問】より効果的な対策を進めるため、貧困状態にある子どもや家庭の実態の見える化を図るための調査が必要ではないか。

【答弁】国が進めている貧困の実態等を表す新たな指標についての調査研究の取りまとめ内容が、本年4月までに示される予定。今後、国から示される指標を確認した上で、子どもの貧困の実態把握に必要なデータの収集等を進めることになるが、県独自で新たな調査の必要性が生じた場合には、国の交付金を活用した調査の実施も検討したい。

木質バイオマスの活用について

山口 経正〈西彼杵郡／自由民主党〉

【質問】低コスト化など需要を高める仕組みづくりについて県の見解は。

【答弁】木質チップの価格を下げるには、効率的な木材生産と流通コスト縮減が必要であり、高性能林業機械導入による作業効率化、林業専用道整備や大型トレーラーによる大量輸送等を林業事業者と協議し、バイオマス材等の木材生産拡大に取り組む。また、公共施設等の温熱用ボイラーや施設園芸用ボイラーの導入等、市町等と連携しエネルギー利用を推進する。

奨学金制度について

麻生　隆〈長崎市／公明党〉

【質問】給付型奨学金制度及び産業人材育成奨学金返済アシスト事業の活用促進についての広報活動の取組は。

【答弁】本年度から作成している様々な奨学金制度をまとめたリーフレットに追加掲載し、配布することによって、学校や生徒、保護者への制度の周知に努めるとともに、生徒の将来の夢や希望の実現のため、学校現場においても経済的対応を含めた進路相談にしっかりと取り組んでいく。

ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名への見解について

堀江ひとみ〈長崎市／日本共産党〉

【質問】被爆県長崎の知事が署名活動の代表賛同人になった思いは。

【答弁】昨年は、G7外相会合の広島開催やアメリカ大統領の広島訪問、国連における新たな議論の枠組みなど、様々な動きが見られた年だった。そのような中、被爆者の方々の呼びかけにより世界で数億の人々から核廃絶に向けた署名を集め、国際世論の喚起のために尽力されようとしていることに対し深く敬意を表したいとの思いであった。今後も、被爆者団体の皆様と連携して核兵器廃絶に取り組みたい。

特別委員会の平成28年の活動について

長崎県議会では、「離島・半島地域振興特別委員会」、「まちづくり・経済雇用対策特別委員会」、「観光振興等対策特別委員会」の3つの特別委員会を設置し、それぞれ特定の事項について審査を行ってきました。その審査内容をとりまとめ、29年2月定例会において知事あて意見書を提出いたしました。内容は以下のとおりです。

(1)「離島・半島地域の振興対策に関する意見書」において、離島・半島地域が将来にわたって持続的に発展していくため、
①しまの雇用創出や交流人口の拡大、定住促進等を図るための対策
②県内の各地域に応じた医療・福祉・教育の分野における支援対策
③地域生活に必要な路線バスについて、地域交通再編等を行う際の利便性の確保、及び世界遺産など新たなコンテンツを活用した路線の存続・構築対策についてなど、要望しました。

(2)「長崎県におけるまちづくり及び経済雇用対策に関する意見書」において、県民が今後も地域に住み続けられることができ、豊かで活力のある暮らしを実感できるまちづくりを進める効果的な施策の実施が必要であるとして、
①新幹線の効果が県内全体で最大限に発揮されるよう、運行ダイヤや停車駅の設定、山陽新幹線への直通運行について、JRや国に対する働きかけの実施と新幹線と航空路の連携が確実に図られる施策の検討
②県庁舎跡地活用について、可能な限り速やかな整備方針の策定
③県下全域において生涯活躍のまち実現に向けた取組が推進されるよう、市町に対する積極的な働きかけの実施
④各大学と連携を図りながら、企業が求める人材の育成や県内への就職促進の取組に対する支援の推進と本県の特長を活かした新産業や若者が魅力を感じる雇用の場の創出など、要望しました。

(3)「長崎県のさらなる観光振興の促進に関する意見書」において、本県の特色ある資産を活用し、各地域が経済効果を享受することができるような取組を推進することを基本として、
①「世界遺産・日本遺産」に加え、各地域に点在する観光資源の掘り起こしや、新たな観光素材の磨き上げによる登録効果の相乗効果を図るための取組
②他県とも連携した、観光客の県内周遊や利便性の向上に資するための施策
③エアソウル定期路線の利用者拡大のための新たなインバウンド誘客の取組
④観光産業の育成・高付加価値化を目指すための、観光客受入に対する支援対策など、要望しました。

常任委員会・議会運営委員会並びに特別委員会等委員名簿　平成29年2月20日現在

委員会	委員長	副委員長	委員					
総務委員会(11名)	吉村　洋	大場 博文	八江 利春	小林 克敏	徳永 達也	山田 朋子	川崎 祥司	前田 哲也
			友田 吉泰	山本 啓介	坂本　浩			
文教厚生委員会(11名)	山本 由夫	吉村 正寿	三好 徳明	中山　功	橋村松太郎	坂本 智徳	瀬川 光之	久野　哲
			中村 和弥	浅田眞澄美	里脇 清隆			
環境生活委員会(11名)	ごうまなみ	山口 経正	野本 三雄	吉村 庄二	溝口芙美雄	中島 廣義	下条ふみまさ	髙比良 元
			堀江ひとみ	深堀　浩	宮本 法広			
農水経済委員会(11名)	宅島 寿一	近藤 智昭	宮内 雪夫	渡辺 敏勝	山田 博司	外間 雅広	松島　完	西川 克己
			中島 浩介	大久保潔重	麻生　隆			
予算決算委員会(44名)	橋村松太郎	吉村 庄二	議長、正副委員長を除く全議員					
議会運営委員会(13名)	溝口芙美雄	久野　哲	八江 利春	吉村 庄二	橋村松太郎	徳永 達也	中村 和弥	西川 克己
			前田 哲也	ごうまなみ	麻生　隆	坂本　浩	大場 博文	
離島・半島地域振興特別委員会(9名)	近藤 智昭	山本 啓介	宮内 雪夫	山田 博司	堀江ひとみ	浅田眞澄美	中島 浩介	宅島 寿一
			吉村 正寿					
人口減少・経済雇用対策特別委員会(10名)	山田 朋子	山口 経正	三好 徳明	小林 克敏	坂本 智徳	瀬川 光之	下条ふみまさ	松島　完
			大久保潔重	宮本 法広				
観光振興等対策特別委員会(10名)	里脇 清隆	川崎 祥司	野本 三雄	中山　功	渡辺 敏勝	中島 廣義	髙比良 元	友田 吉泰
			吉村　洋	山本 由夫				